

報道関係者各位

2024年5月10日

REVISIO株式会社

視聴者をくぎづけにした2024年4月クールの春ドラマとは？ 初回放送の注目度ランキングTOP3を発表—地上波編—

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンへの「注視」を測るREVISIO株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷康士、以下REVISIO）は、2024年4月にスタートした春ドラマについて、初回放送での注目度ランキングTOP3を作成し、人気の傾向を分析致しました。注目度が高いとは、テレビの前の視聴者がくぎづけになっていたことを表します。

1位は日曜劇場「アンチヒーロー」

2024年4月クールにスタートしたドラマで、プライム帯(20時～22時30分に放送開始)に放送されているドラマをピックアップ*し、REVISIO独自の注目度という指標によって初回放送の「注目度ランキングTOP3」を作成いたしました。その結果、個人全体、男性の1位は日曜劇場「アンチヒーロー」でした。

*全てのドラマが対象となっているわけではありません

2024年4月クール ドラマ初回放送 注目度ランキング 属性別比較

対象期間：2024年4月3日～4月27日

順位	番組名	初回 放送日	曜日	放送 開始時間	放送局	個人全体 注目度(%)	男性 注目度(%)	順位	女性 注目度(%)	順位	世帯 視聴率	順位
1	日曜劇場「アンチヒーロー」	4/14	日	21:00	TBS	65.2	67.3	1	63.2	5	11.8	1
2	Believe－君にかけける橋－	4/25	木	21:00	テレビ朝日	63.6	61.0	7	65.6	2	8.1	2
3	ブルーモーメント	4/24	水	22:00	フジテレビ	63.2	62.3	3	63.7	4	7.2	3

REVISIO調べ

※上記期間での初回放送を集計

※対象ドラマは今クールスタートしたプライム帯（20時～22時30分までに放送開始）に放送されたものを中心にピックアップ（すべてのドラマが対象となってはおりません）

※注目度は小数点第二位で四捨五入

個人全体で1～3位になったドラマ

1位：日曜劇場「アンチヒーロー」 出演：長谷川博己さん、北村匠海さん、堀田真由さん、大島優子さん、木村佳乃さん、野村萬斎さん他

個人全体の注目度：65.2%

注目度1位に輝いたのは、TBS日曜劇場枠の新作ドラマ『アンチヒーロー』です。主演の長谷川博己さんが演じるのは、犯罪者でさえも無罪に導く危険な弁護士、明墨（あきずみ）正樹。彼を中心に、北村匠海さん、堀田真由さん、大島優子さん、木村佳乃さん、野村萬斎さんなど豪華キャストが集結し、スリリングな物語が繰り広げられます。

キャスト陣の熱演が光るダークで緊張感あふれるストーリー展開が、ドラマファンを魅了したことから注目度1位の座に躍り出ました。

また世帯視聴率ランキングでも、平均11.8%を獲得し1位に。好調な滑り出しとなっています。

2位：Believe-君にかける橋- 出演：木村拓哉さん、竹内涼真さん、山本舞香さん、一ノ瀬颯さん、北大路欣也さん（特別出演）、上川隆也さん（友情出演）、斎藤工さん、小日向文世さん、天海祐希さん他

個人全体の注目度：63.6%

木村拓哉さん主演の話題作『Believe-君にかける橋』が、注目度2位を獲得しました。本作は、東京都の一大プロジェクト「龍神大橋」を舞台に、主人公・狩山陸（木村拓哉さん）の苦悩と再生を描いた感動のヒューマンドラマです。

『BG～身辺警護人～』のチームが再び結集し、脚本は井上由美子さんが担当。希望と再生をテーマに、事件の真相と人間ドラマが絶妙に絡み合う本作は、初回放送の見逃し配信再生回数が4日間で200万回を突破するなど、女性を中心に63.6%の高い注目度を集めています。世帯視聴率でも8.1%と、2位にランクインしています。

3位：ブルーモーメント 出演：山下智久さん、出口夏希さん、水上恒司さん、岡部 大さん、仁村紗和さん、ワタナベケイスケさん、玉田志織さん、夏帆さん、平岩 紙さん、音尾琢真さん、田中 圭さん、本田翼さん、真矢ミキさん、館 ひろしさん他

個人全体の注目度：63.2%

『ブルーモーメント』は、山下智久さんが主演を務める注目のドラマです。山下さんの民放ドラマの主演は5年ぶり、フジテレビ作品は『コード・ブルー』以来7年ぶりの出演となります。山下さん演じる天才気象研究官・晴原柑九朗が、特別災害対策本部（SDM）の一員として人命救助に挑む姿が描かれます。彼の助手となる雲田彩を演じるのは出口夏希さんです。

物語は、気象災害による人命救助がテーマで、コミックが原作。ドラマは男女問わず注目されており、男性注目度で3位、女性で4位と高評価。山下さんが新たなヒーローを演じる本作は、気象災害に立ち向かう熱いストーリーと、キャラクターたちの関係性が見どころです。視聴者を引き込む展開に、今後も期待が高まります。

参考：2023年下半期におけるドラマジャンル（プライム帯）の平均注目度は個人全体61.4%/男性：60.4%/女性：62.3%

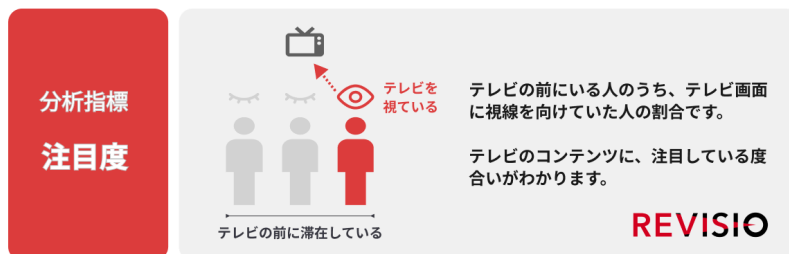
4位以下のランキングについては、REVISIO視聴質ブログ（<https://revisio.co.jp/blog/ly-J-rtA>）でご紹介しています！

REVISIOでは、視聴者がテレビに視線をどれだけ向けたかという視聴データを独自に取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行う予定ですので、ぜひご確認ください。

■今回分析に利用した指標について

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



<本件に関する問い合わせ先>

REVISIO株式会社 広報担当 安武
 東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル
 E-mail info@revisio.com
 Tel (担当直通) 050-5897-4931

【REVISIO株式会社について】

REVISIO株式会社は2022/10/1より、TVISION INSIGHTS株式会社から社名を変更いたしました。人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。ご家庭のテレビに、REVISIOが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というREVISIO独自の注視データを広告主・広告会社・放送局など国内累計200社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組の視聴データ、ならびにコネクテッドTVの注視データを提供しています。